

【ITP に対する血小板輸血の有効性と  
臨床的特徴に関する後方視的解析】  
について

当院では、特発性血小板減少性紫斑病（ITP）と診断され、  
血小板輸血を受けた患者様のうち、数が増えたかどうかを調  
べるとともに、そのような反応がみられた方とみられなかつ  
た方の違いについて、過去の診療記録をもとに調査する研究  
を行っております。

【対象となる方】

2012 年 1 月から 2025 年 6 月の期間に当院にて ITP と診断  
され、血小板輸血を受けたすべての患者様が対象です。

【研究期間】

倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日

【研究の背景、目的】

ITP における血小板輸血は、出血症状が強い場合に施行されることがありますが、その効果には個人差が大きく、明確な指標が存在しません。本研究では、血小板輸血によって上昇が得られた群と得られなかった群の特徴を比較することで、今後の治療判断に資する基礎データを得ることを目的としています。

### 〔研究の方法〕

本研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、当院倫理委員会の承認を得て実施します。使用するデータはすべて匿名化され、患者様の個人情報が入外部に漏れることはありません。また、本研究によって対象となる方に新たな診療・費用負担が発生することはなく、利益・不利益は共にありません。

研究結果は、個人が特定されない形で学会・論文等にて公表される予定です。

### 〔収集項目〕

年齢、性別、診断日、治療歴、使用薬剤、出血症状の有無、血小板数の推移、輸血の有無・回数・反応、治療後の回復状況やその後の健康状態など

### [データの管理]

収集されたデータは、災害医療センター血液内科の責任のもと、厳重に管理されます。

### [ご不明な点・お問い合わせ]

本研究に関してご質問がある場合、あるいは研究へのご自身のデータ利用を希望されない場合には、下記までご連絡ください。

当院研究責任者：血液内科 医師 伊藤謙一

研究に関する問合せ先：当院 血液内科 医師 伊藤謙一

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256

TEL:042-526-5511 (災害医療センター 代表)

対応可能時間帯：平日 8:30-17:15

